

ほちほちにか

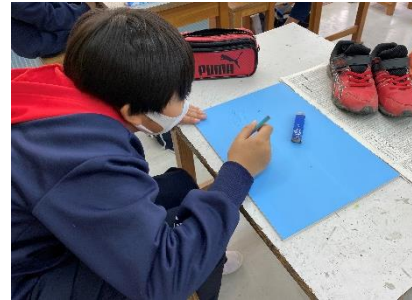
2021年3月8日
桜井谷小学校
4年図工通信 第10号
発行者：

木版画に挑戦



子どもたちが楽しみにしていた彫刻刀を使った木版画作り。テーマは「自分の靴」です。まずは、木の板に靴をよ〜く見てスケッチしていきます。自分の好きなように、靴をセッティングして描き始めます。ダイナミックに、だけどミシン目などの細かい部分までしっかり観察して素敵な靴を描くことができました。靴が重なっていて見えない部分や、靴紐の重なりなど、難しい部分もありましたが、普段こんなに靴を眺めることはないのではないかというくらい観察していたので、板に鉛筆の線で描かれた靴だけでも見ごたえのあるものとなりました。

彫刻刀の使い方を確認したら、いざ入刀！鉛筆で描いた線をなぞるように彫っていきます。イメージは、アイスクリームをすくう感じ。彫刻刀を寝かせて、優しく鉛筆の線を浮かせていきます。刃がスムーズに進む感覚を掴めてくると、すいすいと彫り進めていくことができます。「持ち方」「角度」「速さ」と、沢山気を配らないといけないことがあります。早いうちにコツを掴む姿に感心しました。今回の目標は、第一に「安全」です。刃の進む向きに合わせて板の向きを変えないといけないと頭では分かっているけど、夢中になるとカーブの部分で板を抑えている指に向かって刃を向けていたり、刃の進む向きに指が飛び出していたり、ひやひやする場面もありました。残念ながらケガをしてしまった



人もいましたが、大きなケガをすることなく学習を終えることができ一安心です。靴を彫り終わると、子どもたちにとっては苦痛の「たたみ」タイムが待っていま

す。靴だけにインクがつくように靴の周りを全て彫っていく作業のことで。畳の目のように、



数段ごとに彫り進めて靴を浮かび上がらせます。とってもとっても大変ですが、靴を彫っていた時に使っていた三角刀とは違い、彫

り心地の良い丸刀や小丸刀を使うので、子どもたちは「気持ちいい〜！！」と楽しみながら取り組んでいました。彫刻刀を力強く握りすぎて指や手が痛くてたまらない子や「絶対明日筋肉痛になるわ〜！」と言っている子など、苦労しつつも無事に彫る作業を終え、いざ刷るタイム！「黄」「緑」「赤」「青」の4色から好きな色を1色決めてローラーを転がします。バレンでしっかり擦った後には、刷り上がった美しい作品とのご対面。子どもたち同士で、教え合いながら楽しく作品作りをする姿が見られてとても嬉しかったです。4年生としての作品作りはこの木版画で最後です。5年生なっても、楽しく図工の時間を過ごしてくれると嬉しいです。1年間、持ち物や道具の持参に、ご協力いただき本当にありがとうございました。

